

平成30年5月の労働市場の動き

(求人倍率)

- 大阪府の平成30年5月の有効求人倍率(季節調整値)は1.73倍となり、前月と同水準となった。
- 新規求人倍率(季節調整値)は2.72倍となり、前月より0.02ポイントの低下となった。

(求人・求職の動き)

- 5月の新規求人数(季節調整値)は前月比4.7%減となり、有効求人数(同)は前月比0.3%増となった。
- 新規求職申込件数(季節調整値)は前月比3.9%減となり、有効求職者数(同)は前月比0.1%減となった。
- 5月の新規求人数(原数値)を前年同月と比較すると4.5%増となった。これを主要産業別にみると、建設業(前年同月比0.1%増)、製造業(同7.8%増)、情報通信業(同7.7%増)、運輸業、郵便業(同5.0%増)、卸売業、小売業(同1.1%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同6.7%減)、宿泊業、飲食サービス業(同2.8%減)、生活関連サービス業、娯楽業(同13.5%増)、教育、学習支援業(同24.2%増)、医療、福祉(同4.5%増)、サービス業(他に分類されないもの)(同10.8%増)となった。

